

インターネット上の危険



子どもが「闇バイト」に応募しない、
自身が応募してしまわないために

闇バイトに加担させられる基本的な流れ

- 自らSNSで「高額報酬」などと検索し、応募する
- 犯罪グループから連絡が入る、以降匿名性の高いアプリ (SignalやTelegram) でやり取り
- 犯罪グループに言われるがまま個人情報 (免許証など) を送信
- 犯罪行為への加担を拒否すれば犯罪グループが個人情報を基に脅迫され、犯罪に加担させられる

子どものSNSで検索等されていたら危険キーワード

- 要注意ワード
「闇バイト」「ホワイト案件」「裏バイト」「高額報酬」「即日即金」
- 犯罪行為の隠語等
「UD」「受け」「出し」「叩く」「運び」「口座買取」
- 安全性等をアピールする言葉
「詐欺ではありません」「国対応」「初心者大歓迎」「誰にでもできる簡単な仕事」「学生可能」
「安全に稼げます」「詳しくはDM」 など

「闇バイト」を見抜く方法

- 報酬が高すぎる 例: 段ボール運ぶだけ 最低1件5万円
- やり取りがDMやSignal、Telegramを使っている
- 具体的な業務内容が記載されていない、業務内容が不自然
- 「会社名」「電話等の連絡先」「勤務先」等の記載がない

